

ひがしおわりの窓

平成22年11月発行 第5号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

“やる気”と“元気”



事務長
渡辺 博之

歳を重ねるごとに多くなる“最近の若い人たちは…”とか“自分が若かった頃は～だったのに…”という言葉。使っている自分自身で、時々、何やら妙な淋しささえも覚えてしまうのは、きっと同世代くらいの人になら解ってもらえるだろう。

確かに、自分が社会人になったばかりの昭和の時代とは、社会を取り巻く状況、経済や医療情勢など、何かもが変わっているが、本当にその時代の“若者”自身が変わったのだろうか？今では、街中だけに限らず田舎でも、家の周りにある空き地や草っ原で仲間と一緒に遊ぶ子供たちを目にすることも、ほとんど無くなってしまった気がする。だから、きっと大勢の人たちとの接し方が、少しばかり苦手というか、不慣れなだけではないのだろうか。社会人となって、就職とともに大きな組織の中に入つても、今の時代、昔のような職員体育大会や慰安旅行などの職場・職域を越えて

の交流の場が皆無と言って良いほど無くなってしまったために、業務以外での会話や繋がりも持てなくなってしまっている。古き良き時代？を知る我々の世代にとっては、心淋しいばかりである。

当院でも毎年、何名かの新人を採用しているが、その一人一人は皆、明朗快活で活きの良い人ばかりである。中には、アッと驚くような才能で、一瞬のうちに周りからの注目を浴びる人さえもいる。私は、今どきの人も昔ながらの人も、交われる機会さえあれば、きっと和気藹々と話もでき、色々な事にも共感できるようになって、広い意味で『職場』が楽しい場所になるのだろうと信じている。そのために、今、そういった色々な機会や場面を作っていくように取り組んでいる。何事も一朝一夕に！とはいかないが、少しづつでも職場の中に『仲間』を意識できる人が増えていってくれたら良いと思う。全体の風通しが良くなり、そこから皆が“やる気”になって、職場全体が“元気”になれたら、より一層魅力ある病院になれるだろうと信じて止まないのである。

今後も色々な行事や取組を仕掛けて、院内のみならず地域の皆さんや関係機関等の皆さんとも一緒になって、当院をもっともっと“元気”にしていきたいと思っている。

発行元 独立行政法人国立病院機構東尾張病院
発行責任者 舟橋 龍秀

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~eowari/>

〒463-0802
名古屋市守山区大森北2丁目1301番地
TEL : 052-798-9711
FAX : 052-798-5554

第5病棟の紹介



第5病棟は、長期に亘って治療・療養が必要な患者さんが入院されており、結核病床を併設している慢性期の開放病棟です。また、閉鎖病棟から急性期を脱し症状の安定した患者さんや、休養目的での短期入院の患者さんを受け入れています。他の病棟と比較すると高齢であるため、身体合併症がある患者さんが多く、看護度が高まっています。

看護の特徴は、社会参加に向けたリハビリテーションと生活リズムを整えることに力を入れていることです。

コミュニケーション能力向上を目指し、SST（社会生活技能訓練）を行っており、他者とのスムーズな会話ができるように取り組んでいます。SSTの内容について簡単に説明します。まず、心身の緊張をほぐすために、軽い運動や「良いとこ探し」「自己紹介」を行います。その後、患者さんそれぞれの課題に沿った場面（挨拶をする。お願いをする。お断りをする。…等）を設定して練習します。練習終了時には、お互いの良いところを褒めあい、必要であればさらに良くするための意見を出し合います。患者さんは、自信をつけて実際の生活場面でも実施できるようになっていきます。最近では、患者さん同士がお互い

に誘い合って参加されたり、開始前から会場で待っていたりする姿が見られるようになりました。

病棟生活を穏やかな気持ちで過ごせるように作業療法士と連携しています。作業棟での皮細工や体操、園芸を取り入れています。また、週1回の病棟作業活動では、患者さんが役割を分担し、大きな朝顔の貼り絵を作りました。

レクリエーションでは、余暇を上手に過ごせるように、お花見やバーベキュー、夏祭り等を季節に合わせて企画しており、患者さんは楽しそうに参加されます。

今年は、3名の新人看護師が仲間に加わりました。若い力ももらい、スタッフ一同楽しく頑張っていきたいと思います。



薬剤科（薬剤師の仕事）

薬剤師の最も代表的な業務は調剤です。お薬を作るだけではなく、処方された薬の有効性と安全性のチェックも薬剤師の重要な業務の一つであり、処方される薬については、情報を積極的に収集し、必要な情報は迅速に医師に提供を行うなど薬の適正な使用にも寄与しています。

服薬指導・副作用のチェックなどの臨床活動も活発に行ってています。近年、精神科医療においては、患者自身が自分の状態を理解し治療方法を決定する、「アドヒアランス」という考え方方が浸透してきています。服薬については、「服薬アドヒアランス」という言葉が「病気に向き合い納得して薬を飲むこと」という意味で使われます。服薬指導でも“薬を飲ませる”ための指導ではなく、“薬が飲める”ようになるための関わりを持つことが重要と考え、指導を行っています。具体的には、服薬の必要性と自分が飲んでいる薬と副作用を理解してもらい、拒薬や服用を中断することがないように指導します。また、服用しやすい環境作りのため、剤形変更や用法の変更などを医師に

提案することもあります。

もう一つの薬剤科の大きな業務は、治験に関する業務です。新薬として承認を受けるために行う臨床試験のことを治験と言います。新薬は、研究者や医師の力だけで世の中に送り出されるものではありません。薬の開発の中で最も重要な有効性と安全性を確認するためには、患者さんをはじめ多くの方の理解と協力をいただく「治験」が必要です。

薬剤科は、治験業務の当院の窓口となっています。



作業棟紹介(その2)

今回は、当院の作業療法棟で行われている作業活動について紹介したいと思います。

○活動内容

☆革細工、編み物、陶芸など、“ものづくり”を通しての活動

☆卓球、バトミントンなど、身体を動かす活動

☆音楽鑑賞、読書など、静かにのんびりと過ごす活動
☆調理実習、生活の中の困りごとの相談など、毎日の生活に結びついた活動

色々なタイプの活動があり、「やってみたい！おもしろそう！」と思うことから始めることができます。


作業療法では、入院中の方は、入院生活をよりよくすることや退院して地域で生活することを目指し、このような作業活動を行っています。また、退院後は日中の過ごし方を作業療法士と一緒に考えていきます。
「目的」、「目標」は、患者さんによって様々ですが、色々な作業活動を通して、患者さん一人一人が自分らしい健康的で満足できる生活



を送れるように取り組んでいます。

○利用されている方々の声

「もの作りは楽しいです。自分の物ができるのが嬉しい。」

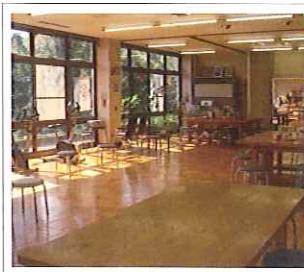
「編み物は神経を使います。でも、その分やりがいがあります。」

「運動をして汗をかくとスッキリします。」

「ここに来ると皆がいるので落ち着きます。」

作業療法室は患者さんにとって、“楽しみの場”・“学びの場”・“安心できる場”・“継続して活動ができる場”・“自然なコミュニケーションがとれる場”となっています。

心も体も生き生きとした、前向きな生活を探してみませんか？分からない事があれば、何でも御相談ください。



病院バスの運行経路・時刻表のお知らせ

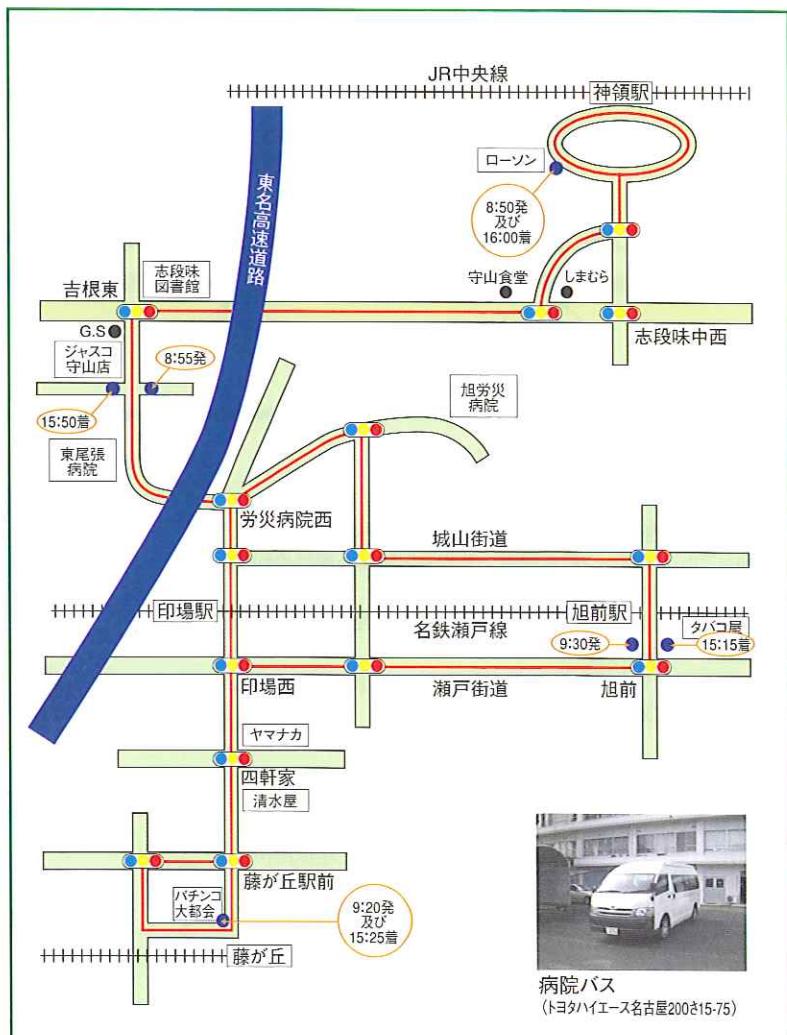
午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:10
神領駅 8:50	旭前駅 15:15
ジャスコ 8:55	藤が丘 15:25
病院着 9:00	病院着 15:40
病院発 9:05	病院発 15:45
藤が丘 9:20	ジャスコ 15:50
旭前駅 9:30	神領駅 16:00
病院着 9:35	病院着 16:10

※土曜、日曜、祝日は運休します。

■病院マイクロバス乗り場案内

病院……当院玄関東側の車庫前
旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅東側のタバコ屋前
藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角
神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前
ジャスコ……守山ジャスコ南東側の高架下

※交通事情により多少遅れがあるので、御了承下さい。



外来診察の御案内

再診の場合は、予約診療も行っております。

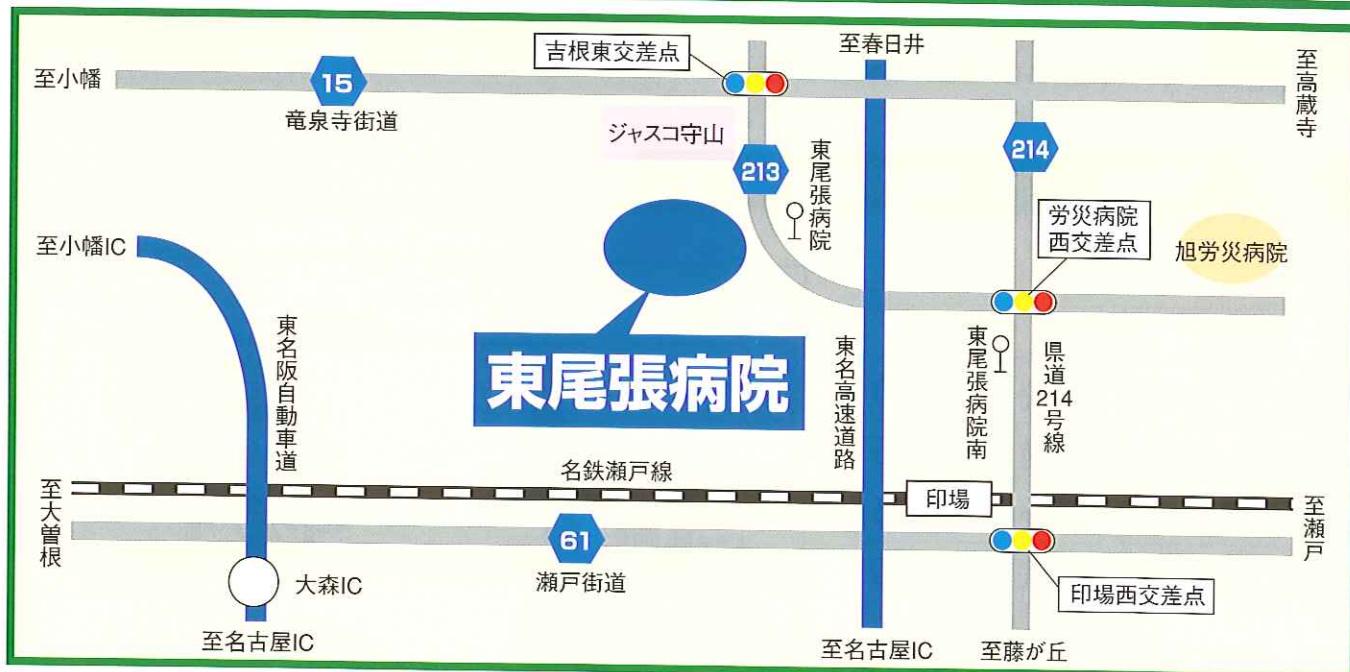
平成22年11月1日現在

	月	火	水	木	金
第1診察室	桑原	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	加藤 第1・3・5週	川崎	桑原／酒井	鳥居 第1・3・5週	野村
	青木(第2週) 木村(第4週)			菅原 第2・4週	
第3診察室	舟橋	青木	舟橋	加藤	川崎
第4診察室	八木	鳥居	青木	八木	木村
第5診察室	野村	菅原	加藤	吉岡	鳥居
第6診察室	川崎	(予診)	藤倉	野村	(予診)

(注1)受付時間は、8:30～11:30です。

(注2) 家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせ下さい。

病院へのアクセス



名古屋方面から
電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統
東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
 - JR中央線・地下鉄名城線大曾根駅下車
①ゆとりーどライン志段味スポーツランド経由中志段味行き
乗車、東尾張病院下車
②名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後
タクシーで約8分

**名古屋方面から
乗用車で**

- 瀬戸街道（県道61号線）印場西交差点を北上、4つ目の信号
「労災病院西」を左折してすぐ左手

**春日井方面から
乗用車で**

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(ジャスコ)を南下し、二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

